

沼津工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	選択外国語（観光学外語演習）
科目基礎情報						
科目番号	2022-303		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	電子制御工学科		対象学年	5		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	John Urry and Jonas Larsen, The Tourist Gaze 3.0, Sage Publications, 2011、ジョン・アーリ／ヨナス・ラースン（加太宏邦訳）『観光のまなざし〔増補改訂版〕』、法政大学出版局、2014年。担当者が用意するプリント資料。					
担当教員	小田 昇平					
到達目標						
英語を文法的に正しく理解し、その内容を把握して読んでいくことができる。 人文学・社会科学の学問手法を理解でき、実践できる。 魅力的な資料を作成し、それにもとづくプレゼンテーションができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目 1	英語を文法的に正しく理解し、その内容を把握して読んでいくことができる。		英語を文法的にある程度理解し、その内容を追いかけて読んでいくことができる。		英語を文法的に理解できず、その内容もまた理解できない。	
評価項目 2	人文学・社会科学の学問手法をよく理解でき、実践できる。		人文学・社会科学の学問手法を理解でき、実践できる。		人文学・社会科学の学問手法を理解できず、また実践できない。	
評価項目 3	魅力的な資料を作成でき、それにもとづくプレゼンテーションができる。		資料を作成でき、それにもとづくプレゼンテーションができる。		資料を作成できず、それにもとづくプレゼンテーションができない。	
学科の到達目標項目との関係						
【本校学習・教育目標（本科のみ）】 4						
教育方法等						
概要	本科目は、英語テキストを演習形式で読み取っていく科目である。 英語の予習は当然として、その意味内容まで理解するための下調べが必須となる。 それなりの負荷があるかもしれないので、履修者はその覚悟を持って履修すること。					
授業の進め方・方法	観光社会学における主要テキストである、 John Urry and Jonas Larsen, The Tourist Gaze 3.0, Sage Publications, 2011. (ジョン・アーリ／ヨナス・ラースン（加太宏邦訳）『観光のまなざし〔増補改訂版〕』、法政大学出版局、2014年。)を輪読する。 観光学を研究するということは、人文社会科学系統の学際領域に足を踏み入れることに他ならない。 したがって、未だに触れたことのない考え方や、概念、人物等に出会うことになる。 労を厭わず未知のものを調べ、一步一步着実に理解を深めていく。 具体的には、テキストを読み解くために、哲学や社会学、精神分析や文化人類学の考え方に触れる。 西洋美術史、映画論、演劇学を通して諸芸術へのアプローチも行っていく。 英語のみならず、ドイツ語やフランス語、あるいはそれ以外の言語についても用いることがある。 自作の資料をもとにして、プレゼンテーションを行い、それを相互に評価する。					
注意点	いわゆる「文系」の大学・大学院におけるゼミナール形式にて展開する。 したがって、積極的な参加が求められる。 わからないことをわからないままにせず、いろんな文献にあたること。 なお、受講生の興味関心に応じて、進度や内容が変更されることがある。 【履修を推奨できない方】 以下の方々は、評価外となります。 該当される方は、この講義を履修しないことを、強くお勧めいたします。 予習復習を含む勉強を「やらない」方（勉強が「できない」方では決していない）、 発言しない方、疑いを持たない方、考えない方、など。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス	英語を文法的に正しく理解し、その内容を把握して読んでいくことができる。 人文学・社会科学の学問手法を理解でき、実践できる。		
		2週	講読	英語を文法的に正しく理解し、その内容を把握して読んでいくことができる。 人文学・社会科学の学問手法を理解でき、実践できる。		
		3週	講読	英語を文法的に正しく理解し、その内容を把握して読んでいくことができる。 人文学・社会科学の学問手法を理解でき、実践できる。		
		4週	講読	英語を文法的に正しく理解し、その内容を把握して読んでいくことができる。 人文学・社会科学の学問手法を理解でき、実践できる。		
		5週	講読	英語を文法的に正しく理解し、その内容を把握して読んでいくことができる。 人文学・社会科学の学問手法を理解でき、実践できる。		

[illegible]

		12週	講読	英語を文法的に正しく理解し、その内容を把握して読んでいくことができる。 人文学・社会科学の学問手法を理解でき、実践できる。
		13週	プレゼンテーション	自分で魅力的な資料を作成し、それにもとづくプレゼンテーションができる。 加えて、他者の資料やプレゼンテーションを正しく評価できる。
		14週	プレゼンテーション	自分で魅力的な資料を作成し、それにもとづくプレゼンテーションができる。 加えて、他者の資料やプレゼンテーションを正しく評価できる。
		15週	これまでのまとめ	それまでの内容を理解できる。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合			
	意欲・関心	レポートとプレゼンテーション	合計
総合評価割合	50	50	100
基礎的能力	50	50	100